

特定非営利活動法人
明るい社会づくり運動

令和8年度 第26回総会

(資 料)

日 時 令和8年7月11日(土) 13:30～
15:00
場 所 葛飾区文化会館 別館2階 ローレル
〒124-0012東京都葛飾区立石6-33-1

通常総会次第

1. 議長選任の件（含：定足数確認）
2. 議事録署名人選任の件
3. 審議事項
 - (1) 令和7年度事業報告書（案）の件 P 4
(参考：令和7年度の事業報告)
 - (2) 令和7年度活動計算書（案）の件 P 10
(事業並びに収支および個人情報保護についての監査報告) …P 15
(資産運用の件)
 - (3) 東京都・法務局等への提出・申請書類の字句修正付託の件 ・P 16
 - (4) 定款変更の件(別紙)
4. 報告事項
 - (1) 令和8年度事業計画の件 P 17
 - (2) 令和8年度収支予算の件 P 19
(資産運用を含む)
 - (3) 役員改選について P 26
5. その他

以 上

3. 審議事項
(1) 令和7年度事業報告(案)の件 (2) 令和7年度活動計算(案)の件

書式第12号(法第28条関係)

事業報告用

令和7年度 事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

1 事業の成果

本年は、SDGs(持続可能な社会の実現)を柱とした事業を展開して4年を迎えた。サステナブル事業の一斉活動「SDGs活動の日」では46団体の参加があった。「一緑運動」は、未使用はがきを活用し、ICAジャパン(ICA国際文化交流協会)が実施するアフリカ・ケニアの植樹活動と、国内の植林活動を展開しているNPO法人地球の緑を育てる会の支援を行った。全国から集まった未使用はがきは3,572枚だった。

「明社推進連絡会」では、明るい社会づくり運動を推進する全国の代表者を対象に開催。冊子「明るい社会づくり運動提唱者の願い」を活用しながらグループ討議等活発な意見交流を実施。『提唱者の願い』冊子精読感想発表の後、参加者全員で車座になり、それぞれの活動内容や抱えている課題について、熱心に話し合った。「Web配信」ではホームページ各種タイムリーな更新と設計変更を行った。各地活動紹介ではこれまでの4団体枠から12団体枠紹介へと拡張し、既刊リストも補充掲載をした。「広報ツールの開発」では冊子「提唱者の願い」が需要状況に基づき追加発刊となった。「繰越事業(被災地支援金使途)」では行政等団体に寄附金を拠出した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業 (事業費の総費用【3,842】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者 範囲	受益対象者 人数	事業費 (千円)
明るい社会をつくるために活動している国内外の諸団体との交流・協力活動の推進	サステナブル事業 (1)一斉行動 「SDGs活動の日2025」の実施。	令和7年 6月8日	東京都他 46団体	5人	実施した 国内30市町村 他一般市民	不特定多数	99
	サステナブル事業 (2)「一緑運動」 未使用はがきを活用し、ICAジャパン(ICA国際文化交流協会)とNPO法人地球の緑を育てる会の植林活動を支援した。	随時	法人 事務所	5人	ケニア・カンパニア郡 シニア地区他 /国内の植 林事業支援	不特定多数	0
明るい社会づくりを推進するための人材の育成	サステナブル事業 (3)「子ども活動」 本年の実施はなかった。	—	—	—	—	—	—
明るい社会づくりの精神を啓発・普及するためのセミナー・シンポジウム・講演会・大会の開催	ネットワーク事業 (1) Meishaミティング®(WEB) 本年の実施はなかった。	—	—	—	—	—	—
	ネットワーク事業 (2) 明社推進連絡会 本運動を推進する会員団体が集合して冊子「提唱者の願い」を活用しながらグループ討議等、活発な意見交流を実施。	令和7年 11月9日	協力団体施設 (杉並区和田 法輪閣第五会 議室)	8人	会 員	26人	90

明るい社会づくり運動に関する調査研究の推進	調査・研究事業 (1) プラットホームづくりのための 情報収集 (被災地支援)	随 時	法人 事務所 他	2 人	一般市民 事務局	不特定多数	0
	調査・研究事業 (2) プラットホームづくりのための 情報収集 (SDG s 関連)	随 時	法人 事務所 他	2 人	一般市民 事務局	不特定多数	0
明るい社会づくりの精神を啓発・普及するための情報の収集と提供	広報事業 (1) 機関誌『はーとふる』の発行 本年の実施はなかった。	—	—	—	—	—	—
	広報事業 (2) Web配信 法人明社事業のお知らせ、 地区明社の活動状況等を掲載した。	随 時	法人 事務所	2 人	会員 一般市民	不特定多数	5 7 7
	広報事業 (3) 明社レンジャー 衣装の貸し出し等	(貸し出し)	1 団体 (沼津地区明社)	2 人	会員 一般市民	不特定多数	0
	広報事業 (4) 広報ツールの開発 冊子「明るい社会づくり運動 提唱者の願い」の追加発刊	令和 7 年 8 月 20 日 追加発刊	法人 事務所	2 人	会員	不特定多数	9 1
明るい社会をつくるために活動している国内外の諸団体との交流・協力活動の推進	繰越事業 (被災地支援金使途) 支払寄附金 東日本大震災みやぎこども育英募金…宮城県庁 熊本城修復などに関わる支援先…熊本市役所 桜苗木基金…認定特定非営利活動法人桜ライン311	令和 7 年 11 月 13 日支払 寄附金	法人 事務所	2 人	行政 一般市民	不特定多数	2 9 8 4

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

定款に記載された 事業名	事業内容	日 時	場 所	従事者人数	事業費 (千円)
無 し	—	—	—	—	—

令和7年度の事業報告（参考・詳細報告）

1. サステナブル事業

（1）一斉活動「SDGs 活動の日」

日時：令和6年 6月 8日（日）

参加数：46団体

内容：一斉活動として「SDGs 活動の日未来へ続く地球社会をめざしてクリーン UP！2025」を6月8日に開催した。案内状は4月15日から、運営会員、団体賛助会員、賛助会員及び未加入団体に実施要項、エントリーシート、活動報告書、ボランティア証明書発行申請書を発送。参加（エントリー）団体は46団体。活動報告提出団体等をホームページに掲載。本年は4回目とあって地区明社も意識をもって参画してくれたところが多い。また、幅広く参画を呼び掛けたことで、協力団体側の参加が増加した。なお、申請書に基づきボランティア証明書の発行・発送を行った。



（2）一緑運動（未使用ハガキの活用）

目的：未使用ハガキを活用し、アフリカで植林活動を展開しているICA インターナショナル文化交流協会(ICA ジャパン)と、国内で植林活動を推進しているNPO 法人地球の緑を育てる会を支援した。

内容：令和7年度は、未使用ハガキ枚 3,572 枚が寄贈された。

『ハガキ寄贈』7団体から寄贈

令和7年度贈呈額 333,910 円（ハガキ寄贈相当分他）

ICA ジャパン(ICA インターナショナル文化交流協会)とNPO 法人地球の緑を育てる会を支援。

<ICAジャパンからの活用報告…代表理事長鈴木澄子>

「ICA ジャパン(2020 年地球環境基金でケニア植林事業開始)が現地へ赴き、アフリカ、ケニアでの植林活動を視察。ケニアでは、一人が年間2本の木を植えるという活動が活発化し、植樹の日が定められたという報告。令和7年 5月 13日、9月 6日には日本から12名のボランティアが、ICA ケニアとケニア南西部の地元農業普及チームとともに植林プロジェクトに参加。11月 3日～7日には、ICA ジャパンが『SDGs スタディツアー』をケニアのマサイコミュニティで開催。毎年行われる植林活動と国際交流を基盤に日本とケニアの子どもたちが協力して SDGs の課題と取組みを学習した。」



<NPO 法人地球の緑を育てる会からの活用報告…理事長石村章子>

「令和7年5月25日開催の第19回筑波山水源の森づくり植樹祭での準備作業及び筑波山神社林内での活動を実施した。筑波山には375haと言う広大な神社林を有し、その一部は、スギ、ヒノキなどの針葉樹が植えられ、伐採適期を迎えながら管理の行き届かない場所が存在。筑波山神社と協議のうえ、それらを間伐し、その隙間に常緑、落葉広葉樹を植えて針広混交林にして健全な山の姿に戻す活動を実施した。」



(3) 子ども活動

令和7年度の実施はなかった。

2. ネットワーク事業

(1) Meisha ミーティング(オンライン)

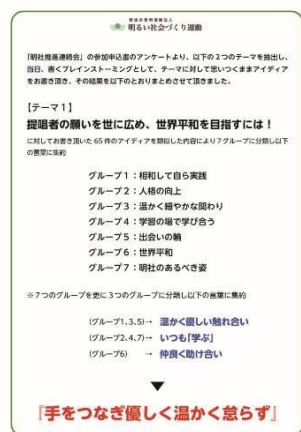
令和7年度の実施はなかった。

(2) 明社推進連絡会

日 時：令和7年11月9日（日）10:30～15:30

参加者：26名（明るい社会づくり運動に携わる団体賛助会員代表者）

内 容：推進連絡会是对面式で開催。それぞれの活動の共有化を図るために、冊子「明るい社会づくり運動提唱者の願い」を活用しながらグループ討議等、活発な意見交流を実施。参加者：26名（理事含む）冊子『提唱者の願い』の感想発表の後、参加者全員が車座になり、それぞれの活動内容や抱えている課題について熱心に話し合った。具体的には「活動は手段であり、真の目的は世界平和である」「私たちはそのための緑づくりの役割を果たすべきである」など活発な意見が交わされ、有意義な連絡会となった。また、参加申込時のアンケートをもとに抽出した2つのテーマについて、自由に書いていただいたアイデアを集約し、ホームページ掲載を以て周知した。



(3) 相談業務

目 的：都道府県、地区明社からの各種相談請負と応対。

内 容：コロナ禍以降の活動形態、解散の相談、報告、組織活動の在り方、講演等の紹介、協力団体からの講師要請、問合せ対応例（活動に参加する方法、協力団体との関係等）。

3. 調査・研究事業

目 的：情報収集を行い、今後の事業へ反映させる。

内 容：情報収集を行い、本運動の今後のあり方を考えていく。

(1) 「明社プラットフォーム」づくりのための情報収集（被災地支援）

宮城県総務課「東日本大震災みやぎこども育英募金」東京事務所調査等
熊本市役所「熊本城修復などに関わる支援先」東京事務所調査等
陸前高田市「認定特定非営利法人桜ライン311」代表者調査会等

(2) 「明社プラットフォーム」づくりのための情報収集（SDG s 関連）

公益社団法人日本駆け込み寺情報収集等
ICAインターナショナル文化交流協会(ICA ジャパン)情報収集等
NPO 法人地球の緑を育てる会情報収集等

4. 広報事業

(1) 機関誌『はーとふる』の休刊

令和7年度の実施はなかった。

(2) Web 配信

目 的：法人明社支援者である会員(運営会員、個人賛助、団体賛助)との関係を円滑にしていくと同時に明るい社会づくり運動を広く呼びかける広報ツールとする。

内 容：本運動に携わる人びととの連携ツールとして活用していく。ホームページ各種更新と活動紹介を行った。活動紹介は4団体から12団体紹介へとホットピックスの拡張と既刊リストの掲載。毎月報告される解析によると、徐々に年代層「25歳から35歳」と「35歳から44歳」層の閲覧者が増えている。また、月によっては女性の閲覧者が増え、デスクトップPCからモバイルでの視聴者が増加の傾向。3月末では「デバイス」デスクトップの割合が増加傾向、「性別」男女割合が交互に増加、「年代」25歳-34歳の割合が増加傾向 27.2%→33.7%。「チャンネル」検索エンジン経由の割合が増加、約7割のユーザーが検索エンジンからの流入。閲覧の順位は、例年のことであるが、地区活動のポスターコンクール、作文コンクール、黄色い帽子閲覧者が増える傾向。特にユーザー数が多かったアクセスではポスターコンクールの記事があげられる。概観すると、各地の活動ページや各都道府県の活動記事が増加し、みんなの活動フォト表示回数も増加、全体的に活動関心度合からの閲覧となっている。

『掲載内容』

・ホームページ掲載	33
(内訳) 全国明社情報	3
地区明社活動情報	30 (含む活動フォト2)

(3) 明社レンジャー

目 的：地区明社や市民団体等の要請に応え、青少年の参加を募り「耀！連隊明社レンジャー」の出演を行い、次代を担う子供たちやその保護者を中心に、平和の大切さや市民によるまちづくりを啓発する。

内 容：出動要請および衣装の貸し出しは1会場1回(沼津明社)

ホームページ掲載…第32回「沼津夏まつり・狩野川花火大会」早朝クリーン作戦
令和7年7月27日「明社レンジャーの活躍、沼津市社会貢献」



(4) 広報ツールの開発

目的: 明るい社会づくり運動を啓発するためのツールを必要に応じて製作する。

内容: 冊子「明るい社会づくり運動 提唱者の願い」の追加発刊。内容は明るい社会づくり運動の提唱者である庭野日敬師のお言葉 36 編をまとめたもの。今後の本運動の推進に役立てていく。要請件数は 17 件あった。



5. 繰り越し事業：基金の活用＜支払寄附金＞

(1) 子ども支援活動: 支払寄附金「東日本大震災みやぎこども育英募金」

・宮城県総務課「東日本大震災みやぎこども育英募金」
宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1 宮城県庁 16 階
TEL022-211-3613 FAX022-211-3699

＜お礼…宮城県知事村井嘉浩 令和 7 年 11 月 18 日＞

「東日本大震災に係る震災孤児等のための寄付金につきまして、心から感謝申し上げます、被災した子どもたちの支援のために有効に活用させていただきます。令和 7 年 11 月 18 日宮城県知事村井嘉浩」

(2) 熊本地震支援活動: 支払寄附金「熊本城修復などに関わる支援先」

・熊本市役所 熊本城総合事務所 TEL096-352-5900
・熊本市役所観光文化交流局 観光交流部熊本城総合事務所 TEL096-359-6475

＜城主証とお礼…熊本市長大西一史 令和 7 年 11 月 13 日＞



(3) 植樹支援活動: 支払寄附金「認定特定非営利活動法人桜ライン 311」陸前高田市

主催「認定特定非営利活動法人 桜ライン 311」桜の植樹・普及啓発・政策提言事業

・法人格取得 2012/05/01 認定法人格取得 2014/05/01
・代表理事岡本翔馬 副代表中井勝義、伊勢友紀
・岩手県陸前高田市高田町字大隅 93-1 高田大隅つどの丘商店街 12 号
TEL0192-47-3399 FAX0192-22-8989

＜桜ライン311に対するご支援の御礼…代表理事岡本翔馬 2025 年 12 月吉日＞

「皆さまのおかげで 14 期を終え、15 期がスタートしております。桜ラインではちょうど秋の植樹シーズンとなっておりまして、今シーズン累計 1 万人の植樹参加者を超過しております。

ひとえに皆さまのご支援のおかげです。15 期は東日本大震災からも 15 年となりますが自然災害で亡くなる人がゼロになる未来に向けて、より多くの方に共感と参加を頂ける事業として継続して参ります。」
(2026 年 3 月 31 日現在 植樹累計本数 2,482 本、植樹会参加者延べ 10,759 人、学校防災学習実施 87 校)

令和7年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

（単位：円）

科 目	金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益		
1 受取会費		1,907,000
正会員受取会費	320,000	
個人賛助会員受取会費	657,000	
団体賛助会員受取会費	930,000	
2 受取寄附金		1,321,700
受取寄附金	1,321,700	
3 受取助成金等		0
受取助成金	0	
4 事業収益		0
事業収益	0	
5 その他の収益		123,926
受取利息	123,926	
経 常 収 益 計		3,352,626
【B】 経 常 費 用		
1 事業費		
(1) 人件費		0
給料手当	0	
役員報酬	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
(2) その他経費		3,842,357
会議費	41,320	
旅費交通費	0	
諸謝金	0	
印刷製本費	74,730	
消耗品費	29,650	
図書資料費	0	
委託費	530,323	
参加費	0	
通信運搬費	181,267	
支払寄附金	2,984,253	
雑費	814	
事業費計		3,842,357
2 管理費		
(1) 人件費		0
役員報酬	0	
給料手当	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
(2) その他経費		2,288,499
会議費	56,329	
旅費交通費	426,234	
印刷製本費	0	
消耗品費	83,387	
図書資料費	20,000	
委託費	33,411	
通信運搬費	742,426	
光熱水料費	181,591	
リース料	48,708	
災害保険料	27,240	
管理諸費	510,396	
支払手数料	137,500	
租税公課	20,177	
雑費	1,100	
管理費計		2,288,499
経 常 費 用 計		6,130,856
当 期 経 常 増 減 額 【A】－【B】・・・①		-2,778,230
【C】 経 常 外 収 益		
固定資産売却益	0	
過年度損益修正益	0	
経 常 外 収 益 計		0
【D】 経 常 外 費 用		
固定資産売却損	0	
災害損失	0	
過年度損益修正損	0	
経 常 外 費 用 計		0
当 期 経 常 外 増 減 額 【C】－【D】・・・②		0
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 ①＋②・・・③		-2,778,230
法人税、住民税及び事業税・・・④	0	
前期繰越正味財産額・・・⑤		89,656,058
次 期 繰 越 正 味 財 産 額 ③－④＋⑤		86,877,828

令和7年度 貸借対照表

		特定非営利活動法人	明るい社会づくり運動
		(単位:円)	
科	目	金額	小計・合計
【A】資産の部			
1	流動資産		
	現金預金	86,991,303	
	前払費用	0	
	未収金	0	
	棚卸資産	0	
	流動資産合計・・・①		86,991,303
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		
	車両運搬具	0	
	什器備品	0	
	(2)無形固定資産		
	ソフトウェア	0	
	借地権	0	
	(3)投資その他の資産		
	敷金	0	
	長期貸付金	0	
	固定資産合計・・・②		0
【A】資産合計 ①+②			86,991,303
【B-1】負債の部			
1	流動負債		
	未払金	113,475	
	前受金	0	
	預り金	0	
	流動負債合計・・・③		113,475
2	固定負債		
	長期借入金	0	
	退職給付引当金	0	
	固定負債合計・・・④		0
負債合計 ③+④			113,475
【B-2】正味財産の部			
	前期繰越正味財産額	89,656,058	
	当期正味財産増減額	-2,778,230	
正味財産合計			86,877,828
【B】負債及び正味財産合計【B-1】+【B-2】			86,991,303

令和7年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
該当なし
- (3) 引当金の計上基準
・退職給付引当金
該当なし
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
該当なし
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

2. 事業別損益の状況

科目	サステナブル事業 一斉活動	サステナブル事業 一線活動	サステナブル事業 子ども活動	ネットワーク事業 Mei-sha ミーティング	ネットワーク事業 明社推進連絡会	ネットワーク事業 相談業務	調査・研究事業	広報事業1 機関誌	広報事業2 WEB配信	広報事業3 明社レンジャー	広報事業4 広報ジール	災害支援事業費1	繰り越し事業	事業部門合計	管理部門	合計
I 経常収益																
1. 受取会費	99,044	0	0	0	90,024	0	0	0	577,266	0	91,770	0	0	858,104	1,048,896	1,907,000
2. 受取寄附金														1,321,700	0	1,321,700
3. 受取助成金等														0	0	0
4. 事業収益														0	0	0
5. その他収益														0	123,926	123,926
経常収益計	99,044	0	0	0	90,024	0	0	0	577,266	0	91,770	0	0	2,179,804	1,172,822	3,352,626
II 経常費用																
(1) 人件費																
給料手当														0	0	0
福利厚生費														0	0	0
人件費計														0	0	0
(2) その他経費																
支払寄附金													2,984,253	2,984,253	0	2,984,253
会議費					41,320									41,320	56,329	97,649
旅費交通費														0	426,234	426,234
現地活動費														0	0	0
諸謝金														0	0	0
印刷製本費											74,730			74,730	0	74,730
消耗品費									29,650					29,650	83,387	113,037
図書資料費														0	20,000	20,000
委託費									530,323					530,323	33,411	563,734
参加費														0	0	0
通信運搬費	98,230				48,704				17,293		17,040			181,267	742,426	923,693
図書会費														0	0	0
修繕費														0	0	0
光熱水料費														0	181,591	181,591
リース料														0	48,708	48,708
災害保険料														0	27,240	27,240
管理諸費														0	510,396	510,396
法人実務費														0	0	0
支払手数料														0	137,500	137,500
租税公課														0	20,177	20,177
雑費	814													814	1,100	1,914
その他経費計	99,044	0	0	0	90,024	0	0	0	577,266	0	91,770	0	2,984,253	3,842,357	2,288,499	6,130,856
経常費用計	99,044	0	0	0	90,024	0	0	0	577,266	0	91,770	0	2,984,253	3,842,357	2,288,499	6,130,856
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-2,984,253	-1,662,553	-1,115,677	-2,778,230

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳
該当なし

(単位：円)

内容	金額	算定方法		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は**86,877,828**円ですが、そのうち**2,984,253**円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は**86,877,828**円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
災害支援事業1 (子ども支援寄付金)	1,070,448	0	1,070,448	0	寄附金拠出(宮城県庁「東日本大震災みやぎ子ども育英募金」)
災害支援事業1 (熊本地震支援寄付金)	1,399,725	0	1,399,725	0	寄附金拠出(熊本市役所「熊本城復元整備基金」)
災害支援事業2 (桜苗木基金)	514,080	0	514,080	0	寄附金拠出(鎌前高田市「認定特定非営利活動法人桜ライン311」)
合計	2,984,253	0	2,984,253	0	

5. 固定資産の増減内訳
該当なし

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 車両運搬具 什器備品 無形固定資産 投資その他の資産 敷金						
合計						

6. 借入金の増減内訳
該当なし

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

該当なし

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
活動計算書計 (貸借対照表)		
貸借対照表計		

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- 事業費と管理費の按分方法

該当なし

- その他の事業に係る資産の状況

該当なし

令和7年度 財産目録

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

(単位:円)

科	目	金額	小計	合計
【A】資産の部				
1	流動資産			
	現金預金			
	手元現金	3,406		
	みずほ銀行普通預金 (1228920)	3,630		
	みずほ銀行普通預金 (2038093)	23,332,055		
	みずほ銀行普通預金 (2039812)	33,602,348		
	みずほ銀行定期預金 (6041918)	30,045,764		
	郵便貯金 (00170-0-34233)	550		
	郵便貯金 (00150-3-571857)	3,550		
	前払費用	0		
	未収金	0		
	棚卸資産	0		
	流動資産合計・・・①		86,991,303	
2	固定資産			
	(1) 有形固定資産			
	車両運搬具	0		
	什器備品	0		
	(2) 無形固定資産			
	ソフトウェア	0		
	借地権	0		
	(3) 投資その他の資産			
	敷金	0		
	長期貸付金	0		
	固定資産合計・・・②		0	
【A】資産合計 ①+②				86,991,303
【B-1】負債の部				
1	流動負債			
	未払金	113,475		
	前受金			
	令和8年度個人賛助会費	0		
	令和8年度団体賛助会費	0		
	令和8年度運営会費	0		
	預り金			
	給与源泉所得税	0		
	報酬源泉所得税	0		
	報酬・料金源泉所得税	0		
	流動負債合計・・・③		113,475	
2	固定負債			
	長期借入金	0		
	退職給付引当金	0		
	固定負債合計・・・④		0	
【B-1】負債合計 ③+④				113,475
【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】				86,877,828

監 査 報 告 書

令和8年 4月 27日

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動
理事長 大 石 雅 也 殿

1. 監査手続の概要

監事は、「特定非営利活動法人明るい社会づくり運動」に関する定款第 15 条により、同法人の第25期(即ち自令和7年4月1日至令和8 年3月31日)の令和7 年度特定非営利活動に係る事業の会計、「財産目録」「貸借対照表」「活動計算書」の監査を行いました。

この監査に当っては、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して、監査手続を実施しました。

また、同法人の個人情報保護規程(平成19年4月1日施行)第27条により、監査責任者として個人情報管理の監査を実施しました。

2. 監査の結果

令和7年度特定非営利活動に係る事業の会計、「財産目録」「貸借対照表」「活動計算書」は、法令及び定款に従い、「特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動」の収入、支出並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。また、個人情報の管理が個人情報保護方針および個人情報保護規程に従い、適正に実施されていることを認めます。

3. 「令和7年度事業報告書」の内容に相違ないことを認めます。

4. 監査意見

永年の繰り越し事業、「子ども支援活動」「熊本地震支援活動」「植樹支援活動」の基金が支援先に拠出されたことを評価させていただきます。また、協力団体の支援から独立し、自立した法人明社の活動に向けた今後の尽力に期待いたします。

流動資産の現預金86,877,828円は、これまでの経緯(その一部が過去において財団設立を目指した際の指定寄付であったこと※)に鑑み、その区別を明確にされたうえで法人にとって有益な運用に心がけられることを切望いたします。

※財団設立の基金として寄付をされた方々の名簿は、『明るい社会づくり運動準備財団編 特定非営利活動法人明るい社会づくり運動設立記念 明るい社会づくり運動の歩み』P288に記載されています。

監 事 有 富 三 幸 印省略

監 事 松 永 行 央 印省略

(3) 東京都・法務局への申請書類の字句修正付託の件

4. 報告事項

(1) 令和8年度事業計画の件 ＜運営に関する事項＞

(1) 第26回「通常総会」の開催

日 時：令和8年7月11日（土）13時30分～15時まで

実施形態：集合会議（対面方式）

- ・資料に基づいて事務局が説明
- ・質疑応答

参加対象：法人明社の運営会員

参加形態：通常総会開催通知文に、希望参加形態の用紙を同封する。

参加種別：集合会議、委任状および書面表決

(2) 理事会の開催

第1回理事会

日 時：令和8年5月16日（土）9時30分～15時まで

形 態：集合会議

内 容：(1)第26回通常総会の資料確定の件
(2)その他

第2回理事会

日 時：令和8年9月5日（土）9時30分～12時まで

形 態：オンライン会議

内 容：令和9年事業方針について

第3回理事会

日 時：令和8年11月21日（土）予定13時30分～16時

まで形 態：集合会議又はオンライン会議

内 容：(1) 令和8年度事業の中間報告
(2) 令和9年度事業計画の検討
(3) その他

第4回理事会

日 時：令和9年2月6日（土）9時30分～12時まで

形 態：オンライン会議

内 容：(1) 令和8年度決算見込みの報告
(2) 令和9年度事業計画・予算の件
(3) その他

2 事業に関する事項

事業実施の方針

2030 年を目指し、SDGs（持続可能な社会の実現）を柱とした事業を展開して 5 年を迎え、「誰も取り残さない持続可能な社会づくりを目指す運動」を行う。

具体的には「SDGs 活動の日」で、昨年は多数の地区明社の参加があり清掃活動、一人でも参加できるゴミ拾い等が行われた。本年度も引き続き清掃活動、資源回収活動を 2026 年 6 月 7 日に行うため全国の地区明社へ呼びかけ参加を募っていく。

「一緑運動」は、未使用はがきを活用し、ICA インターナショナル文化交流協会が実施するアフリカ、ケニアの植樹活動中心に支援を行う。「明社推進連絡会」では明るい社会づくり運動を推進する全国の代表者を対象。地区明社の活動、今後の推進のあり方など交流の機会とする。

「広報ツールの開発」では冊子「明るい社会づくり運動提唱者の願い」発刊に伴い、需要事情に基づき再度追加発刊を視野に入れつつ運動推進に努める。

1. サステナブル事業

(1) 一斉活動「SDGs 活動の日」

目 的：明社運動を行っている方々とともに、清掃活動はじめ SDGs 活動に取り組む。

さらに一斉に行うことにより、都道府県及び地区明社が互いに繋がり、ネットワークをつくる契機とする。

内 容：それぞれの地区明社、個人が設定することとし、集団的な活動が出来ない場合は、家の周りなどに取り組む。

日 程：6 月 7 日（日）

※この活動が目指す項目



いちりよく

(2) 一緑運動（未使用ハガキの活用）

目 的：未使用ハガキによる国際支援活動を行う。

地球温暖化による干ばつ、砂漠化が進行する状況の中で水や食物などを満足に得られない過酷な環境の中で暮らす人びとへの支援を行う。

内 容：未使用ハガキを活用し、アフリカで植樹活動を展開している ICA インターナショナル文化交流協会（ICA ジャパン）を中心に支援する。

※この活動が目指す項目



2. ネットワーク事業

(1) 明社推進連絡会

目 的：活動に役立てていく情報共有及び運営上の課題を模索する。

また、今後の明社運動のあり方を研鑽する。

対 象：団体賛助会員の代表者（約 130 地区）、1 団体 1～2 名。

形 態：未定

日 時：令和 8 年 11 月 22 日（日）予定 10 時半～15 時半

(2) 相談業務

目 的：都道府県及び地区明社からの各種相談を行う。

基本的に電話等オンラインでの対応。

3. 調査・研究事業

- (1) 「明社プラットフォーム」づくりのための情報収集
- (2) PR に関する情報収集
- (3) 各セミナーへの参加等

目 的: 情報収集及び調査を行い、今後の事業へ反映させる。

内 容: 情報収集を行い、本運動の今後のあり方を考えていく。

4. 広報事業

(1) 機関誌発行の休止

目 的: 本運動の推進に役立つ情報を提供し、都道府県・地区明社への支援に寄与すると共に、全国各地で展開される本運動の広報の検討。

内 容: 本運動に携わる人々と連携していくためのツール及び、活動 PR の紙面代替継続検討。

(2) Web 配信

目 的: 法人明社の支援者である会員(運営会員、個人賛助、団体賛助)との関係を円滑にし ていくと同時に明るい社会づくり運動の広報ツールとする。ホームページ更新と充実に努める。

内 容: 本運動の情報提供、広報及び活動の PR を行っていく。

(3) 明社レンジャー

目 的: 地区明社や市民団体等の要請に応じて、青少年参加の募り方「耀! 連隊 明社レンジャー」のショー的演出を案内する。次代を担う子供たちやその保護者を中心に、平和の大切さや市民によるまちづくりを啓発する。

内 容: ①要請に応じて、衣装等を貸し出す。

②ショー的演出やイベントへの参加事例の紹介、広報援助を行う。

(4) 広報ツールの開発

目 的: 明るい社会づくり運動を啓蒙促進するためのツールを、必要に応じて既刊再発行する。

5. 予算

令和 7 年度(2025 年度) 予実対比表 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	予算	実績	差異
I 経常収入の部			
1・会費収入	2,761,000	1,907,000	-854,000
(1)運営会費	590,000	320,000	-270,000
(2)個人賛助会費	921,000	657,000	-264,000
(3)団体賛助会費	1,250,000	930,000	-320,000
2. 事業収入	0	0	0
	0	0	0
3. 補助金収入	0	0	0
(1)協力団体	0	0	0
(2)その他	0	0	0
4. 寄付金収入(一般・指定)	700,000	1,321,700	621,700
5. 雑収入	20,000	123,926	103,926
6. 前期繰越金からの繰入		0	0
7. 基金からの繰入	0	0	0
8. 子ども支援基金からの繰入	1,070,448	1,070,448	0
9. 熊本支援基金からの繰入	1,399,725	1,399,725	0
10. 桜苗木基金からの繰入	514,080	514,080	0
経常収入合計 (A)	6,465,253	6,336,879	-128,374

	予算	実績	差異
II 経常支出の部			
1・事業費			
サステナブル事業	220,000	99,044	-120,956
(1)一斉活動	200,000	99,044	-100,956
(2)一緑運動	20,000	0	-20,000
(3)子ども活動	0	0	0
ネットワーク事業	1,230,000	90,024	-1,139,976
(1)Meisha ミーティング	0	0	0
(2)明社推進連絡会	1,200,000	90,024	-1,109,976
(3)相談業務	30,000	0	0
調査・研究事業費	200,000	0	-200,000
広報事業	2,420,000	669,036	-1,750,964
(1)機関誌	0	0	0
(2)WEB	2,200,000	577,266	-1,622,734
(3)明社レンジャー	20,000	0	-20,000
(4)広報ツール	200,000	91,770	-108,230

繰り返し事業（寄付金等の活用）	2,984,253	2,984,253	0
子供支援基金、熊本支援基金	2,470,173	2,470,173	0
桜苗木基金	514,080	514,080	0
事業費合計	7,054,253	3,842,357	-3,211,896
2・管理費			
管理費	4,000,000	2,288,499	-1,711,501
管理費合計	4,000,000	2,288,499	-1,711,501
経常支出合計（B）	11,054,253	6,130,856	-4,923,397
経常収支差額（A）－（B）	-4,589,000	206,023	4,795,023

予 算 令和 8 年度

令和 7 年度予算・実績、令和 8 年度収支予算書（令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日）

（単位：円）

I 経常収入の部	令和 7 年度予算	令和 7 年度実績	令和 8 年度予算
1. 会費収入	2,761,000	1,907,000	1,907,000
① 運営会費	590,000	320,000	320,000
② 個人賛助会費	921,000	657,000	657,000
③ 団体賛助会費	1,250,000	930,000	930,000
2. 事業収入	0	0	0
3. 補助金収入	0	0	0
① 協力団体	0	0	0
②その他	0	0	0
4. 寄付金収入（一般・指定）	700,000	1,321,700	1,300,000
5. 雑収入	20,000	123,926	100,000
6. 前期繰越金からの繰入			
7. 基金からの繰入	0	0	0
8. 子ども支援基金からの繰入	1,070,448	1,070,448	0
9. 熊本支援基金からの繰入	1,399,725	1,399,725	0
10. 桜苗木基金からの繰入	514,080	514,080	0
経常収入合計（A）	6,465,253	6,336,879	3,307,000

令和 7 年度予算・実績、令和 8 年度収支予算書（令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日）

（単位：円）

Ⅱ 経常支出の部	令和 7 年度予算	令和 7 年度実績	令和 8 年度予算
1. 事業費			
サステナブル事業	220,000	99,044	320,000
一斉活動「SDGs 活動の日」	200,000	99,044	300,000
一緑活動（未使用はがき）	20,000	0	20,000
子ども活動	0	0	0
ネットワーク事業	1,230,000	90,024	830,000
Meisha ミーティング	0	0	0
明社推進連絡会	1,200,000	90,024	800,000
相談業務	30,000	0	30,000
調査・研究事業費	200,000	0	200,000
広報事業	2,420,000	669,036	1,720,000
広報事業費 1（機関誌）	0	0	0
広報事業費 2（WEB）	2,200,000	577,266	1,500,000
広報事業費 3（明社インジャー）	20,000	0	20,000
広報事業 4（広報ツール）	200,000	91,770	200,000
繰り越し事業（基金の活用）	2,984,253	2,984,253	0
災害支援事業費 （子ども支援、熊本地震支援）	2,470,173	2,470,173	0
災害支援事業費（桜苗木基金）	514,080	514,080	0
事業費合計	8,323,000	3,842,357	3,070,000
2. 管理費			
管理費	4,000,000	2,288,499	3,000,000
管理費合計	4,000,000	2,288,499	3,000,000
経常支出合計（B）	11,054,253	6,130,856	6,070,000
経常収支差額（A）－（B）	-4,589,000	206,023	-2,763,000

<参考>

令和 8 年特定非営利活動に係る事業会計収支予算

	金 額 (単位 : 円)				計算式 等
I 経常収入の部					
1 会費収入					
・運営会費		320,000			32 口(令和 8 年 3 月末参考)
・個人賛助会費		657,000			219 口(令和 8 年 3 月末参考)
・団体賛助会費		930,000		1,907,000	93 口(令和 8 年 3 月末参考)
2 事業収入					
・集会事業収入		0		0	
3 補助金収入					
・民間助成金収入		0			協力団体等より
・その他の助成金収入		0		0	
4 寄付金収入					
・寄付金収入		1,300,000		1,300,000	令和 8 年 3 月末参考
5 雑収入					
・受取利息		100,000		100,000	3,307,000 預金利息(令和 8 年 3 月末参考)
6 繰越金より繰入					
・繰越金より					
7 基金より					
・基金等		0		0	
経常収入合計 (A)				3,307,000	

	金 額 (単位 : 円)				計算式 等
II 経常支出の部					
1 サステナブル事業費					
・一斉活動「SDGs 活動の日」					
印刷製本費	100,000				チラシ・証明書等作成・印刷費
会議費	0				会議費
通信運搬費	150,000				発送等通信費
消耗品費	50,000				備品
業務委託費	0				ボランティア協力金
旅費交通費	0	300,000			交通費
・一緑運動(未使用葉書の活用)					
印刷製本費	0				チラシ・お礼状作成
通信運搬費	20,000				発送費
旅費交通費	0				交通費
消耗品費	0	20,000			事務用品
・子ども活動					
印刷製本費	0				チラシ作成(デザイン料含)
通信運搬費	0				発送費
諸謝金	0				講演料
業務委託費	0				ボランティア協力金
会議費	0				会議費
旅費交通費	0				交通費
会場費	0				会場費
雑費	0				ボランティア保険
消耗品費	0	0	320,000		事務用品
2 ネットワーク事業費					
・Meisha ミーティング					
印刷製本費	0				通知文等作成(デザイン料含)
通信運搬費	0				発送費
会議費	0				会議費
諸謝金	0				講師謝礼
業務委託費	0				ボランティア協力金
消耗品費	0	0			発送用封筒
・明社推進連絡会					
会議費	100,000				会議費
業務委託費	300,000				ICT 等環境管理
印刷製本費	250,000				資料作成費
通信運搬費	150,000	800,000			発送費
・相談業務					
会議費	30,000	30,000	830,000		会議費
3 調査・研究事業費					
旅費交通費	50,000				交通費
印刷製本費	30,000				資料印刷費
通信運搬費	30,000				発送費

研修参加費	50,000				セミナー参加費
書籍購入費	20,000				資料購入費
消耗品費	20,000	200,000	200,000		発送用封筒代他
4 広報事業					
・機関誌「はーとふる」の発行					
印刷製本費	0				制作費（印刷費、デザイン含）
旅費交通費	0				交通費
諸謝金	0				原稿料等
図書資料費	0				資料購入等
消耗品費	0				コピー用紙、発送用封筒作成他
会議費	0				打合せ会議費
業務委託費	0				ボランティア協力金
通信運搬費	0	0			発送費
・WEB 配信					
委託費	500,000				HP リニューアル費
委託費	500,000				HP 委託管理・制作・動画編集
旅費交通費	100,000				交通費
通信運搬費	100,000				発送費・振込料等
会議費	100,000				取材打合せ等
消耗品費	150,000				メディア等消耗品
図書資料費	50,000	1,500,000			
・明社レンジャー					資料用書籍等
旅費交通費	0				出張旅費
会議費	0				打合せ等
通信運搬費	20,000				衣装発送費
雑費	0				ボランティア保険
消耗品費	0	20,000			備品購入
・広報ツールの開発					
印刷製本費	100,000				既刊再発行作成費
通信運搬費	100,000	200,000	1,720,000	3,070,000	発送費
5 災害支援事業					
・災害支援事業 1					
・災害支援事業 2					
	0	0	0		
6 事業人件費					
給料手当	0	0	0	3,070,000	
7 管理費					
・主たる事務所の管理費					
給料手当	0				残業食事代等
福利厚生費	0				総会・理事会
会議費	200,000				理事会・日帰り交通費等
旅費交通費	500,000				電話・宅急メール便・振込料
通信運搬費	700,000				日本 NPO セ等会費・資料用図書
図書会費	30,000				事務用品・ゴミ処理券等
消耗品費	100,000				記録保存管理料他
委託費	100,000				季節各種挨拶状等
印刷製本費	100,000				電気・水道・EV 保守
光熱水料費	200,000				コピー機再リース管理他
リース料	100,000				家財保険・動産保険
災害保険料	30,000				ICT 保守管理/サーバー他
管理諸費	500,000				登記印紙
法人実務費	5,000				会計顧問料・法定調書作成
支払手数料	400,000				
租税公課	10,000				
雑費	25,000	3,000,000		3,000,000	残高証明手数料等
経常支出合計 (B)				6,070,000	
経常収支差額 (A) - (B)				-2,763,000	

資産運用の件

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動 理事長 大石 雅也(令和8年2月6日令和7年度第4回理事会資料再掲)

「明るい社会づくり運動」は庭野日敬師が全世界の人々の平和と幸せに暮らせる社会をつくるべく提唱されて57年が経ちました。その理念は今も変わりませんが、取り巻く社会環境は大きく変化し、法人明社においても同様であります。特に財政面においては協力団体からの支援も無くなり、全国会員の皆さまからの会費収入のみでは賄い切れない状態となりました。25年余前、財団法人設立を目指しご寄付頂いた基金は、現在はその目的では使途されることはなく、一般会計の普通預金として別口座に計上されております。その浄財(基金)を今後の法人明社の事業に有効活用することこそが、ご寄付くださった全国会員の皆さまへの還元であると存じます。本理事会にてご検討頂き、ご承認が得られれば6月の総会に図り、運営会員の皆さまのご英断を賜り、貴重な事業運営資金として活用してまいりたいと考えます。なお、一定金額については理事会にて協議のうえ、安全で利回りの良い資産運用を考えております。

9. 監事選任及び報告事項

(1)監事選任の件

監事任期終了につき、後任監事に以下の 2 名を推薦いたします。

- ① 齋 藤 明 (明るい社会づくり運動千葉県連絡会 代表)
- ② 細 沼 克 全 (葛飾明るい社会づくりの会 事務局長)

役員改選の件

- 1. 辞任及び退任理事 (5 人) 筧 康夫、佐伯雅子、高木幹郎
井上達也、川田義高
退任監事 (2 人) 有富三幸、松永行央
新任理事 (1 人) 織笠英二

2. 特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動 役員

任期：令和 8 年 7 月 1 日～令和 10 年 6 月 30 日

- 理 事 長 大石 雅也 (税理士、大石雅也税理士事務所所長)
- 副理事長 杉本 光正 (明るい社会づくり運動大阪府地区明社連絡会事務局長)
- 理 事 鈴木 祥高 (子ども食堂nuku-nuku スタッフ)
- 理 事 鶴田 啓二 (明るい社会づくり運動山梨県協議会事務局長)
- 理 事 藤川 智美 (明るい社会づくり運動もりおか代表)
- 理 事 織笠 英二 ((一社) 東北駆け込み寺代表理事) 令和 8 年 7 月 1 日～

- 監 事 齋藤 明 (明社 千葉県連絡会代表) 令和 8 年 7 月 1 日～
- 監 事 細沼 克全 (葛飾明るい社会づくりの会事務局長) 令和 8 年 7 月 1 日～

令和8年5月現在															
			任期		任期		任期		任期		任期		任期		
			法人期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期						
			就任期間	H28.7.1-H30.6.30	H30.7.1-R2.6.30	R2.7.1-R4.6.30	R4.7.1-R6.6.30	R6.7.1-R8.6.30	R8.7.1-R10.6.30						
No	役 員	氏 名	年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		秋葉 忠利	H30.7.1			1期	1期	2期	2期	3期					
	理事長	大石 雅也	H28.7.1	1期	1期	2期	2期	3期	3期	1期	1期	2期	2期		
	理事	杉本 光正	R5.7.1								1期	2期	2期		
	理事	井上 達也	R2.7.1					1期	1期	2期	2期	3期	3期		
	理事	鈴木 祥高	R7.7.1									1期	1期		
	理事	川田 義高	R7.7.1										1期	1期	
	理事	高木 幹郎	R7.7.1									1期	1期		
	理事	鶴田 啓二	R7.7.1										1期		
	理事	藤川 智美	R7.7.1										1期		
	理事														
	理事														
	理事														
	監事	松永 行央	R6.7.1									1期	1期		
	監事	有富 三幸	R4.7.1							1期	1期	2期	2期		
※定款13条1項により、理事は10人以上20人以内、監事は2人以上3人以内となっています。															
※定款16条1項により、役員(理事・監事)には任期が定められており、3期6年を超えて再任することはできません。															

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.